

急な要請にもかかわらず、お集りいただき感謝申し上げます。

本日、北海道防衛局において「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会」が開催され、「米軍再編に係る三沢飛行場から千歳基地への訓練移転について」詳細通知がございました。

通知内容につきましては、お手元に配布した資料のとおりでございます。

「訓練期間」は、9月26日（火）から10月4日（水）まで、
「参加部隊」は、米軍が三沢基地所属の第35戦闘航空団 及び 嘉手納基地所属の第18航空団、航空自衛隊が千歳基地所属の第2航空団、
「使用基地」は、千歳基地、
「訓練空域」は、北海道西方空域及び三沢東方空域、
「演練項目」は、戦闘機戦闘訓練等、
「参加規模」はタイプⅡで、米軍はF-16が12機程度 及び E-3^{スリー}Gが1機、人員が220名程度、航空自衛隊はF-15が8機程度でございます。

北海道防衛局に対しましては、この連絡協議会において、北海道、千歳市、苫小牧市の3者で構成する「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡会議」から、協定の遵守など改めて要請を行うとともに、本市といたしましても、沖縄の負担軽減などについて、個別要請を行ったところでございます。

騒音測定につきましては、市の常時測定局6局、北海道の常時測定局9局、国の常時測定局1局のほか、国及び市の臨時測定地点が各3局、計22局の体制で行うこととしております。

市の体制でございますが、８月２９日の概略通知を受け、ただちに「苫小牧市在日米軍再編問題対策会議」を開催し、庁内体制を整えております。

本日の詳細通知の内容につきましても、庁内関係部局において情報共有を行っており、市民の皆さんの安全・安心の確保に万全を期してまいります。

今後のスケジュールといたしましては、９月１４日に開催される総合開発特別委員会で、市議会への報告を行うほか、航空機騒音対策協議会を開催し、説明を行ってまいります。

また、市のホームページやフェイスブックへの掲載、新聞の市役所だよりなどで、訓練に関する情報の市民周知を図るとともに、商工会議所など関係団体への報告、航路下地域への周知チラシの配布などをこれまでどおり行ってまいります。

私からは以上でございます。ご質問があれば、お受けいたします。